

2024年8月28日

日本現代中国学会第74回全国学術大会のご案内

会員各位

2024年の日本現代中国学会全国学術大会は、10月19日（土）と20日（日）の両日、法政大学市ヶ谷キャンパス（富士見ゲート）において開催されます（対面のみ）。今年の共通論題のテーマは「習近平の『融合発展』戦略と台湾」です。

大会プログラム

2024年10月19日（土）共通論題・懇親会

12:30～	受付（法政大学富士見ゲート5階）
13:00～17:30	共通論題：「習近平の『融合発展』戦略と台湾」（法政大学富士見ゲート5階G503教室）
18:00～20:00	懇親会（法政大学富士見ゲート3F つどひ）

2024年10月20日（日）自由論題・分科会

9:30～	受付（法政大学富士見ゲート4階）		
場所	会場①：G401教室	会場②：G402教室	会場③：G403教室
午前の部 10:00～12:00	自由論題1： 歴史・文化1	自由論題2： 台湾・香港	テーマ分科会1： 商務印書館と中国現代文化の形成
午後の部① 13:00～14:30	自由論題3： 政治・経済	自由論題4： ジェンダー	自由論題5： 歴史・文化2
午後の部② 14:45～16:45	自由論題6： 文学		テーマ分科会2： 改革開放萌芽期の中国を歴史化する

【会場マップ】

法政大学市ヶ谷キャンパス（千代田区富士見 2-17-1）



富士見校地には外濠校舎と富士見ゲートの間の正門からお入りいただけますと、分かりやすいです。（立て看板設置予定）

正門を入ってすぐ右手の入り口から富士見ゲート棟へお入りください。（立て看板設置予定）

北エントランス（地下1階）から入り、エスカレーターにて4階、または5階へお進みください。

共通論題プログラム

共通論題：習近平の「融合発展」戦略と台湾（法政大学富士見ゲート5階G503教室）

司会・趣旨説明：

13:00～13:10 川島真（東京大学）

共通論題趣旨：

2024年1月に台湾で4年に一度の総統・立法委員選挙が行われ、民進党の頼清徳候補が当選しました。民主化後の台湾では初めて、民進党が3期目の政権与党を担うこととなります。他方で、民進党は立法委員選挙で議席を減らし、単独過半数を獲得できませんでした。習近平政権はこの選挙結果を、民進党に対する不信任の増加だと総括し、台湾に対しては引き続き「愛国統一力量」を増やすべく働きかける姿勢を見せています。

今後、中国と台湾の間で直ちに軍事紛争が起きる可能性は低いものの、台湾に対する硬軟を織り交ぜた攻勢はさらに強まるものと思われます。そうしたなかで注目を集めているのが、習近平がそのキャリアの多くを過ごした福建省と、そこに近接する金門・馬祖を突破口として、台湾との統合を進めようとする「融合発展」戦略です。

本年の全国大会共通論題では、この「融合発展」戦略に注目し、その実態や可能性、台湾と地域の国際関係に与える影響などについて、学問的に議論をしたいと考えています。

第1部 報告次第：

13:10～13:40 鈴木隆（大東文化大学）「福建省時代の習近平の台湾認識と政策実践」

13:40～14:10 下野寿子（北九州市立大学）「福建省と『融合発展』—中央地方関係の文脈からの考察」

14:10～14:40 松本充豊（京都女子大学）「『融合発展』戦略とエコノミック・ステイトクラフト」

14:40～15:10 福田円（法政大学）「『融合発展』戦略と金門島」

※報告題目はいずれも仮題

15:10～15:30 休憩

第2部 討論

コメント：

15:30～15:45 黄英哲（愛知大学）

15:45～16:00 川島真（東京大学）

16:00～17:30 全体ディスカッション

18:00～19:30 懇親会（法政大学富士見ゲート3F つどひ）

自由論題プログラム

開催時間：午前の部10:00-12:00、午後の部①13:00-14:30、午後の部②14:45-16:45

場所：法政大学富士見ゲート4階

午前の部：10:00-12:00

自由論題1：歴史・文化1

座長：木村 自（立教大学）

報告者：

肖 童（鹿児島大学・院）

「近代日本人の長江中流域認識の変遷－憧れと現実のはざまで－」

楊 小平（中国・四川省社会科学院）

「20世紀初期における中国神話学の発生と日本」

自由論題2：台湾・香港

座長：大東 和重（関西学院大学）

報告者：

任 鵬飛（東京外国語大学・院）

「日本植民地時代における台湾の自治思想の発展」

張 宇博（早稲田大学）

「香港と台湾をつなぐもの－近年の香港映画に描かれる「台湾」を中心に香港映画に描かれる「台湾」－」

小栗 宏太（東京外国語大学）

「日本における香港ポピュラー文化受容－1990年代アジアン・ポップ・ブーム期の刊行物を中心に－」

テーマ分科会1：

「商務印書館と中国現代文化の形成－清末民初・五四時期を中心に－」

企画者・司会：瀬戸 宏（摂南大学・名誉）

報告者：

瀬戸 宏

「商務印書館研究の意義」

張 稷（中国・商務印書館、南京大学）

「商務印書館が中国現代文化形成に果たした役割」

討論者：瀬戸 宏

午後の部①：13:00-14:30

自由論題3：政治・経済

座長：巖 善平（同志社大学）

報告者：

伊藤 亜聖（東京大学）、林 載桓（青山学院大学）

「データとしての習近平重要講話」

相川 泰（公立鳥取環境大学）

「中国環境問題の近況（2024年版）」

自由論題4：ジェンダー

座長：松本ますみ（室蘭工業大学・名誉）

報告者：

余 楽（お茶の水女子大学・院）

「農民工の子ども世代の県城移住に見る家族関係の変化－湖北省X県県城における住宅購入ブームを事例に－」

王 雅俊（早稲田大学・院）

「婚活アカウントから見る中国サブカルチャー愛好者のアイデンティティの変化－アカウント『拯救大齡二次元』を中心に－」

自由論題5：歴史・文化2

座長：李 曉東（島根県立大学）

吉川 次郎（中京大学）

「清沢冽の中国認識－ジャーナリストとして観た1920年代の中国－」

李 昱（愛知大学・院）

「満洲建国大学「研究院」研究動向－『研究院月報』を中心に－」

午後の部② 14:45-16:45

自由論題6：文学

座長：上原かおり（フェリス女学院大学）

報告者：

陳 昊旻（愛知大学・院）

「中国文学作品における妖怪概念の変容」

楊 文溢（京都大学・院）

「沈從文「水雲」における「過去」の描き方とそのリアリティ欠如の意味について」

楊 靈琳（立命館大学）

「劉慈欣のSF作品における未来「中国」の「国家」－『老神介護』『扶養人類』を中心に－」

テーマ分科会2：

「改革開放萌芽期の中国を歴史化する」

企画者・司会：中村元哉（東京大学）

報告者：

河合 玲佳

「『改革・開放』と胡耀邦」

新田 順一（慶應義塾大学・院）

「改革開放初期の諮問集団の役割」

横山 雄大（東京大学・院）

「政治・経済改革の教訓としてのハンガリー・ポーランド－国際政治学者・王逸舟の視点から－」

討論者（コメント）：

李 昊（東京大学）

加茂 具樹（慶應義塾大学）

網谷 龍介（津田塾大学）

■書籍販売 両日ともG501教室にて、中国関係書店による書籍の出張販売を予定しています。是非ご利用ください。

■大会実行委員会からのご案内

- 1.今大会は事前の出欠登録を必要としないので、会場に直接お越しください。受付で名札をご作成いただきますので、名刺がある方はお持ちください。
- 2.報告要旨集、報告論文、資料などは大会のGoogleドライブに格納し、各自ダウンロードしていただきます。ドライブのURLは会員MLにてご案内いたします。また、会場ではeduroamのほか、当日用wi-fiアカウントをご利用いただけますが、端末の貸し出しはございません。開催校からの紙媒体での資料配布もございません。
- 3.キャンパスへの車両入構はできません。徒歩または公共交通機関をご利用ください。
- 4.宿泊施設はご自身で早めにご予約ください。
- 5.法政大学構内は、決められた喫煙所以外は禁煙となっています。
6. 託児サービス利用補助の申し込みは1週間前までに熊倉までご連絡ください。今回は、開催校がサービスをご紹介することはできませんので、ご自身でご利用いただいたサービスに対して、補助金をお支払いする形となります。

法政大学 熊倉潤

【E-mail】 kumakura[アットマーク]hosei.ac.jp